

※情報共有メールは、プラチナサポートの特典となっております。プラチナサポート加盟店以外への共有、流用等は禁止されております。

※配信当時の内容のため、現状の内容と異なる場合もございます。予めご了承ください。

プラチナサポート情報共有メール

No.	657	配信日	2026/2/5	ジャンル	業界情報
テーマ	金相場が大幅な下落！？その理由とは				

近ごろの金相場は、これまでにないほど激しく動いています。

1月29日にはついに1gあたり3万円を突破しましたが、わずか数日後の2月2日には大幅な下落がありました。たった48時間で、それまでの上昇分の多くが消えてしまう急変動となっています。

今回は、なぜこのような急落が起きたのかをできるだけ分かりやすく整理して解説します。

金の価格は主に次の4つで決まります。

- 世界の出来事（戦争・政治・地政学リスク）
- アメリカの金利
- ドルの強さ
- 投資家の心理

今回の下落は、これらが同時に悪い方向へ重なった複合的な急落でした。特に影響が大きかった理由を4つに分けて説明します。

①「金利が上がりそう」という見方が広がった（最大の理由）

トランプ大統領がアメリカの中央銀行（FRB）の次期トップとして、「利上げに積極的」と言われる人物を指名しました。その結果、市場では

- 「これから金利が上がる」
- 「ドルが強くなる」

という見方が一気に広がりました。

金は利息がつかない資産なので、金利が上がると魅力が下がります。そのため、世界中の投資家が金を売り始め、価格が大きく下がりました。

②ドルが強くなり、金が割高に見えた

金は世界で「ドル建て」で取引されています。

ドルが強くなると、海外の人から見ると金が高く感じられるため、買いが減ります。

今回は、「FRBはそこまで危なくないかも」という安心感が出たことでドル高が進み、金売りが増えました。

③株の急落で“現金確保の売り”が出た

AI関連株を中心に株式市場が急落し、多くの投資家が損失を出しました。

通常は「株安＝金高」と言われますが、大暴落のときは逆になります。投資家は損失を補うために、すぐ現金にできる金を売ります。今回はこの動きが広がり、金の下落が加速しました。

④上がりすぎた反動（利益確定売り）

金は直前まで史上最高値を更新し続けていましたが、

- 約5,500ドル目前 → 一夜で約600ドル下落
- という急変が起きました。

高値圏では利益確定売りが出やすく、そこに①～③の要因が重なり、売りが売りを呼ぶ連鎖的な下落となりました。

実際の価格の動き（結果）

- 1月29日：史上最高値 5,594.82ドル/オンス
- その後わずか48時間で急落
- 1月30日夜には約5,095ドルまで低下
- 週末までに4%以上の下落

たった2日で、それまで数週間かけて上がった分がほぼ消えてしまいました。

迷っているお客様に使えるトーク

「いま金は戦争のリスクや円安等が重なって、高い水準にあります。急に下がるのが金相場の怖さです。実際に今回アメリカの金利が上がる可能性や、相場が高くなったことでファンドによる金の売却が起こり一気に下落しています。

今後より円高になる可能性もあり、そうすると今以上に相場が下落する可能性もあるので、高値圏にある“いま”売っておくのが一番安心な選択だと思います」

